

67 山口県は高級魚の宝庫？

29年3月16日掲載

私たちは日常の買い物で、どれくらい魚を買っているでしょう？

総務省の行っている家計調査（二人以上の世帯）の「品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング（平成25年（2013年）～27年（2015年）平均）」では、山口市の鮮魚の購入量は8位となっています。

ランキング上位の魚を見渡すと、「たい」、「ぶり」、「あじ」、「えび」がどれも4位で、「さば」が9位です。この5種と「まだい」、「まぐろ」、「いわし」、「かつお」、「かれい」、「さけ」、「さんま」、「いか」、「たこ」、「かに」以外の魚は、家計調査では「他の鮮魚」としてまとめられていますが、これは全国第4位です。山口の人は魚好きですね。

では、漁獲量の方はどうでしょうか？農林水産省の「平成27年漁業・養殖業生産統計」のデータを見てみましょう。山口県は三方を海に囲まれていますから、「漁獲量はさぞかし上位？」と思いきや、意外にも26位（内陸部の8県を除く）でした。

しかし、一般的に高級魚と呼ばれている魚に、全国上位の漁獲量となっているものが多くあります。分類方法が家計調査とは異なりますが、「ふぐ類」が4位、「たい類」が3位、「あまだい類」は、何と全国第1位です。（「ふぐ」や「あまだい」は、家計調査では「他の鮮魚」に分類されています。）

また、はもやあんこうの漁獲量も全国有数ですので、こうしてみると、山口県は「高級魚の宝庫」と言えるかもしれません。

私の大好きな魚料理は、「アマダイの煮つけ」です。濃いめの煮汁でじっくりと味付けすれば、白身のふんわりした触感にうま味も増し、とてもおいしく食べられますよ。

魚種別漁獲量（上位5都道府県）（単位：t）

